

	令和5年度行政事業レビューシート					(文部科学省)	
事業名	先端研究設備整備費補助			担当部局庁	科学技術・学術政策局		作成責任者
事業開始年度	令和元年度	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室	研究環境課		研究環境課長 稲田 剛毅
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-			関係する 計画、通知等	成長戦略フォローアップ(令和3年6月18日閣議決定) 統合イノベーション戦略2021(令和3年6月18日閣議決定) 安心と成長の未来を拓く総合経済対策(令和元年12月5日閣議決定) 文部科学省緊急対策パッケージ(第2弾)(令和2年5月27日公表)		
政策	8 知のフロンティアを開拓し価値創造の源泉となる研究力の強化			主要経費	科学技術振興費		
施策	8-2 基礎研究・学術研究の振興						
政策体系・評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20221012-mxt_kanseisk01-000024706-04.pdf						
事業の目的 (5行程度以内)	・博士課程学生等が研究活動を速やかに再開・継続できるよう、研究者からのニーズの高い、共用研究設備・機器について、遠隔利用や実験の自動化を推進するための設備・機器の早期導入等を支援することで、学生・教職員等を新型コロナウイルス感染症の脅威から守りつつ、研究活動の維持を図る。(研究活動再開等のための研究設備の遠隔化・自動化による環境整備) ・研究機関等における基盤的及び先端的研究施設・設備・機器のリモート化・スマート化を図る。(研究施設・設備・機器のリモート化・スマート化)						
現状・課題 (5行程度以内)	・新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、大学等においては、学生や研究者の入構が制限され、研究設備・機器を用いた実験等ができない状況。学位取得を目前に控えた修士・博士課程の学生、ポスドクや任期付の若手研究者のキャリアへの影響を防ぐためにも、「3密」を防ぎつつ、研究活動を再開・継続できる環境を整備し、さらに、研究における飛躍的イノベーションの実現等の加速が必要がある。そのため、研究者からのニーズの高い共用研究設備・機器や、基盤的及び先端的研究施設・設備・機器のリモート化・スマート化が重要である。						
事業概要 (5行程度以内)	・研究者からのニーズの高い、各大学等が現在保有している共用研究設備に対して、遠隔利用や実験の自動化を推進するための設備・機器の追加等(既存の研究設備の高度化等)を支援する。【定額補助】 ・幅広い研究者への共用体制を構築している研究機関において、研究者からのニーズの高い、遠隔地からの研究や研究の自動化が可能な共用研究設備・機器の新規導入や、各研究機関等が保有している共用研究施設・設備・機器に対して遠隔利用や実験の自動化を推進するための設備・機器の追加(既存の共用研究施設・設備・機器の高度化等)を支援する。【定額補助】						
事業概要URL	-						
実施方法	補助						
補助率等	-						
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
	予算の 状況	当初予算(A)	-	-	-	-	-
		補正予算(B)	9,570	-	-	-	
						-	
						-	
						-	
						-	
						-	
		前年度から繰越し(C)	4,990	7,698	251	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	▲ 7,698	▲ 251	-	-	
		予備費等(E)	-	-	-	-	
	計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	6,862	7,447	251	-	-	
	執行額(G)		6,825	7,446	251		
	執行率(%) =(G)/(F)		99%	100%	100%		
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]		71%	-	-		
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
	(項)						
		(目)					
	計(A)		-	-			

活動内容① (アクティビティ)		研究機関等における基盤的及び先端的研究施設・設備・機器のリモート化・スマート化を図る									
↓											
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
		先端研究設備整備の整備	本事業を通じて、先端研究設備を整備した機関数	活動実績	件	39	38	4	-	-	
				当初見込み	件	39	38	4	-	-	
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	効果発現の初期段階として、まずは、各機関において、時間や距離に縛られずに研究を遂行出来る新たな研究環境を整備することで、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響で研究設備・機器を用いた実験等ができない学生や研究者への影響が減少すると考え、リモート化・スマート化に対応した先端研究設備・機器数を短期アウトカムした。									
成果目標及び成果実績 ①-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 4 年度		
		時間や距離に縛られず研究を遂行できる新たな研究環境の整備	本事業で整備したリモート化・スマート化に対応した先端研究設備・機器数	成果実績	件	197	217	4	418		
				目標値	件	197	221	4	418		
				達成度	%	100	98.2	100	100		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		文部科学省調べ									
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	新型コロナウイルス感染症の拡大の影響で研究設備・機器を用いた実験等ができない状況をリモート化・スマート化された研究施設・設備・機器の活用を拡大することにより、大学等の多くの研究者が、研究活動を再開・継続のみならず、研究における飛躍的イノベーションの実現等が加速すると考えられるため、本事業を通じて整備した先端研究設備あたりの利用件数を長期アウトカムとして設定した。									
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 4 年度		
		多くの研究者が先端研究設備を利用できる研究環境を整備し、我が国の研究力の向上を図る	本事業を通じて整備した先端研究設備あたりの利用件数 *目標値は前年度実績より増となるよう設定	成果実績	件	432	641	824	824		
				目標値	件	900	630	642	642		
				達成度	%	48	101.7	128.3	128.3		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		文部科学省調べ									
アウトカム設定について の説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由									
		-									
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由									
		-									
事業に関連する KPIが定められて いる閣議決定等	名称	-									
	URL	-									
	該当箇所	-									

[illegible]

資金の流れ
(資金の受け取り先が
何を行っているかにつ
いて補足する)
(単位：百万円)

文部科学省
251百万円

共用に供する先端的な研究に資する設備の整備に必要な経費を
研究機関等に対して補助することにより、若手研究者をはじめとし
た研究者の研究力の向上と、未来の鍵を握る重要分野における我
が国の競争力の強化を図る。



補助金等交付

A国立大学法人等
全4機関
251百万円

研究機関等における基盤的及び先端的研究
施設・設備・機器のリモート化・スマート
化を図る

